

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2013/11/10 集計 + オンライン署名増加分 = **8,364,791** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

山本太郎問題の問題

10月31日、皇居園遊会で、山本太郎参議院議員(39歳・無所属)が天皇への直訴状を手渡しして非難を浴びました。青年の正義感でいささか突飛な方法ではあったものの、山本議員が提示した問題は「福島」の現状を直視して欲しい、対策を急いで欲しい」ということ。単純明瞭、まっとうな訴えだと思えます。

ところが政府は直訴の内容については不問。「天皇の政治利用問題」へと論点をすり替え、国民の目が福島の現実へ向かわないようにと腐心しました。

今、福島原発の廃炉作業は困難を極め、現場の作業員達の疲労はピーク。作業員の被曝量が限界を超えていても、計測器に小細工をして実数値を隠す。そうしなければ労働者不足で立ち行かない。原発についての知識・技術を持った専門作業員は大幅に不足し、新規採用の補充員は危険極まる作業の教育・訓練も不十分なまま現場に送られている…。

二次災害はいつ起きるか分かりません。40年かかると言われる廃炉作業に、2年半で悲鳴が上がっているのです。

最近では、国民の関心も低下してはいないでしょうか。青年議員が社会のそんな空気に一石を投じた意味を考えたい。議員が訴えた「福島の深刻な状況」を知り、福島は何も解決していないことを改めて考え直す時ではないでしょうか！

「秘密保護法」を廃案に!!! 私達の声を、政府へ直接届けよう!

「特定秘密保護法案」が通れば、原発事故の真相は隠蔽されます。他方で、戦争への扉が開きます。政府への抗議を『内閣府・国民の声』まで、電話や手紙で伝えよう! これは私達国民の権利です。

●〒100-8914・千代田区永田町 1-6-1・内閣府「国民の声」係 ●電話番号：03-5253-2111

福島原発事故の真実を知り、 原発の無い社会への道筋を考える 学習会

日時：11月20日(水) 18:30~20:50

会場：町田市民文学館・ことばらんど

(Tel : 042-739-3420) 2階大会議室

報告：奈良本英佑氏 (法政大学名誉教授)「原子力市民委員会の討議と中間報告」/プレゼンテーション：後藤政志氏 (原子炉格納器の設計に携わる)「福島原発で何が起こったのか、その現状と将来の見通し」/質疑応答・討論：《進行》井野博満氏 (東京大学名誉教授) /参加費：500円

共催：原発事故を考える町田市民の会

(Tel : 042-729-2296) ・原子力市民委員会

(<http://www.ccnejapan.com/>)

秘密保護法に反対する全ての人たち大集合

STOP! [秘密保護法] 11.21 大集会

『何が秘密?それは秘密』それはイヤだ!

日時：11月21日(木) 18:30 開会・19:30 国会

請願デモ出発/会場：日比谷野外音楽堂 (千代田区日

比谷公園 1-5=地下鉄・霞ヶ関「日比谷」内幸町下車)

内容：各界からのアピール (主催者・国会議員・市民グループ他)

主催：STOP! 「秘密保護法」大集会実行委員会

呼びかけ5団体：新聞労連 (03-5842-2201)、平和フォーラム (03-5289-8222)、5・3 憲法集会実行委員会 (03-3261-9007・03-3221-4668)、秘密法反対ネット (090-2669-4219, 03-5842-5842)、秘密法に反対する学者・研究者連絡会

= 「平成の治安維持法」と呼ばれる「秘密保護法」は、国民みんなの人権と自由な生活を奪う悪法です。手製のプラカード・旗など、ご自由にご持参下さい。 =

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。